

令和2年度
離島テレワーク人材育成補助事業

事業実施報告書

令和3年3月

沖縄県企画部地域・離島課

目次

第1章	事業の概要	1
1-1	事業の目的	1
1-2	事業実施地域	2
1-3	テレワーカーの登録状況と告知活動	5
1-4	テレワーカーの属性	15
第2章	人材育成の実施	18
2-1	ライター育成	18
2-2	在宅コールセンターオペレーター育成	21
2-3	その他 BPO 育成例	23
2-4	育成スケジュール	29
第3章	業務斡旋の実施	30
3-1	就労者内訳	30
3-2	稼働状況	32
3-3	収益状況	34
3-4	キャリアカウンセリングの実施	35
第4章	事業検証	39
4-1	各種アンケート	39
4-2	事業検証報告	58
第5章	自走化に向けた検討課題	63
5-1	検討課題	63
5-2	将来に向けたビジョン	66
第6章	事業検証委員会議事録	67
6-1	第1回開催	67
6-2	第2回開催	75

第1章 事業の概要

1-1 事業の目的

事業の背景と目的

令和元年度より実施された離島テレワーク人材育成補助事業（以下「本事業」という。）は、沖縄県の離島地域にある遠隔性、散在性、狭小性といった条件不利性を慢性的に抱えており、多くの離島では、生活及び産業活動面での条件が厳しく、市町村の財政基盤も脆弱であるなど、本島地域との格差が依然として存在する。

本年度事業では、新型コロナウイルス拡大防止により国から求められている行動変容により、新たなビジネスモデル創出を早期に実現すること最優先とし、前年度実施した石垣島、久米島、渡嘉敷島に加え、沖縄県内すべての有人離島を対象地域とした。

より広域的なテレワーカー育成体制を構築し、業務斡旋量の増加、それに伴う案件の多様化を目指した。

事業骨子

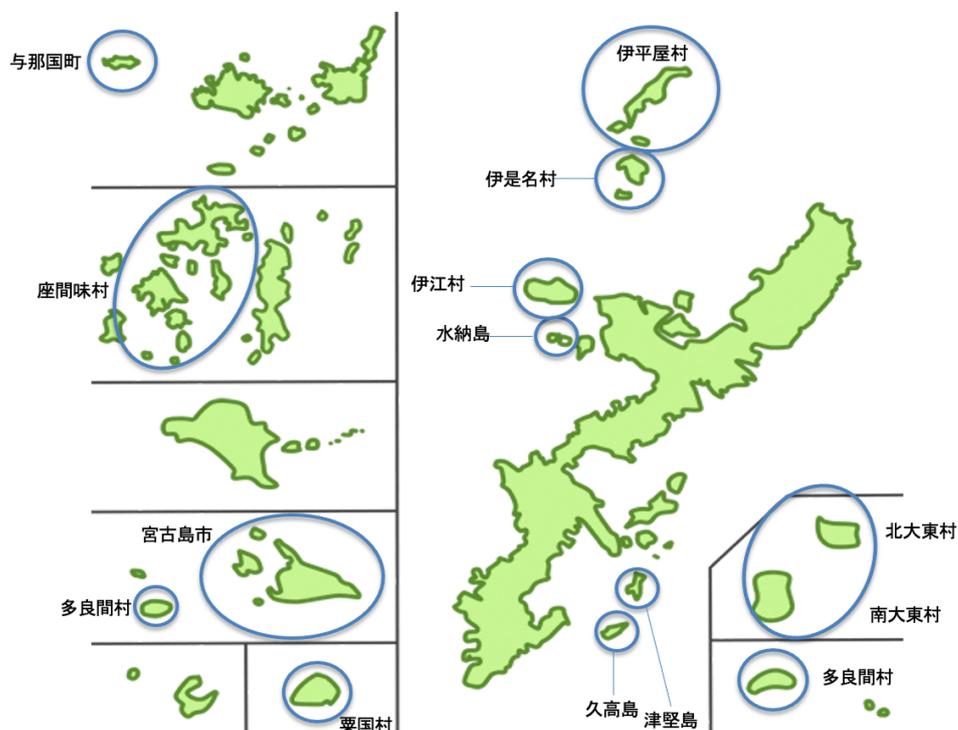
以下の業務を実施する。

- ① 育成・OJT・作業仮想プラットフォームの構築運用
- ② テレワーカーの募集と確保
- ③ テレワーカーの育成
- ④ 新規取引先クライアントの開拓
- ⑤ テレワーク業務斡旋
- ⑥ テレワーカーへのキャリアカウンセリング
- ⑦ テレワーカーへのアンケート調査/分析検証委員会・事業継続委員会対応
- ⑧ 事業実施報告書の作成

テーマ	得られる成果
離島の連結を拡張する	令和2年度は伊江村・伊平屋村・伊是名村・座間味村・渡名喜村・宮古島市・多良間村・北大東村・南大東村・粟国村・与那国町・本部町水納島・うるま市津堅島・南城市久高島でテレワーカーの募集・育成・業務斡旋を実施する。令和2年度では200名以上のテレワーク登録者を創出し、令和元年度と併せ総数400名の登録者とし離島連携の新たなICTによる収益基盤を構築・拡大する。
人材育成プラットフォームを確立する	地域の管理者育成を含めた人材育成のプラットフォームを構築することで、長く育成を持続できる体制を確立するとともに、人材育成のノウハウを蓄積してゆく。人材育成プラットフォームは、各離島におけるテレワーク人材の育成のためのソフト資産であり、育成する人材を受け入れ、育成し、そして卒業してゆく人材育成のプロセスを継続的に維持する要になる。
沖縄型ローカルクラウドソーシングを拡大する	小規模な離島を中心に、地域経済循環率の低さが離島における慢性的な課題となっている（那覇市109.2%に対し、渡嘉敷村は52.6%）。テレワーカー個々人のリソースを仮想的な企業とみなした場合、これまで地域に存在なかったIT企業が存在することになり、その利活用を離島内の事業者へ積極的にPRし、発注者と受注者の距離が近いローカル型クラウドソーシングで新市場を開拓することで、地域経済循環率が改善に向かうものと考えられる。

1-2 事業実施地域

令和2年度は沖縄県内の全有人離島を事業実施対象地域とした。(○囲みは今年度新規対象地)



各離島のテレワーカー登録者内訳は以下のとおり。

	人口 (2019年1月)	想定値	第1期 (2019年度)	第2期 (2020年度)	合計 (1期+2期)
		0.36%			
伊平屋島	1,171	4	0	10	10
伊是名島	1,506	5	0	13	13
伊江島	4,686	16	0	21	21
津堅島	463	1	0	1	1
久高島	248	0	0	1	1
粟国島	730	2	0	2	2
渡名喜島	387	1	0	0	0
座間味島	581	2	0	1	1
阿嘉島	255	0	0	0	0
渡嘉敷島	678	2	15	6	21
久米島	8,171	29	65	15	80
北大東島	586	2	0	1	1
南大東島	1,246	4	0	4	4
宮古島	48,071	173	0	117	117
池間島	621	2	0	0	0
来間島	152	0	0	1	1
伊良部島	5,293	19	0	3	3
多良間島	1,170	4	0	5	5
石垣島	48,870	175	128	100	228
竹富島	362	1	0	3	3
西表島	2,356	8	11	11	22
小浜島	660	2	2	0	2
黒島	210	0	0	2	2
波照間島	527	1	1	1	2
与那国島	1,485	5	0	10	10
鳩間島	50	0	0	1	1
水納島	35	0	2	0	2
合計	130,333	458	222	329	551

想定値は全国の在宅就労者の割合である 0.36%を各島の人口に換算したものである。
 想定値より高い地域は在宅就労のニーズが高い地域と判断できる。

想定値に対する各島の登録者一覧

ニーズの高かった離島（想定値と同等または想定値を上回った離島）

	島名	想定値（名）	結果値（名）
1	伊平屋島	4	10
2	伊是名島	5	13
3	伊江島	16	21
4	津堅島	1	1
5	久高島	0	1
6	粟国島	2	2
7	渡嘉敷島	2	21
8	久米島	29	80
9	南大東島	4	4
10	来間島	0	1
11	多良間島	4	5
12	石垣島	175	228
13	竹富島	1	3
14	西表島	8	22
14	小浜島	2	2
15	黒島	0	2
16	波照間島	1	2
17	与那国島	5	10
18	鳩間島	0	1
19	水納島（本部町）	0	2

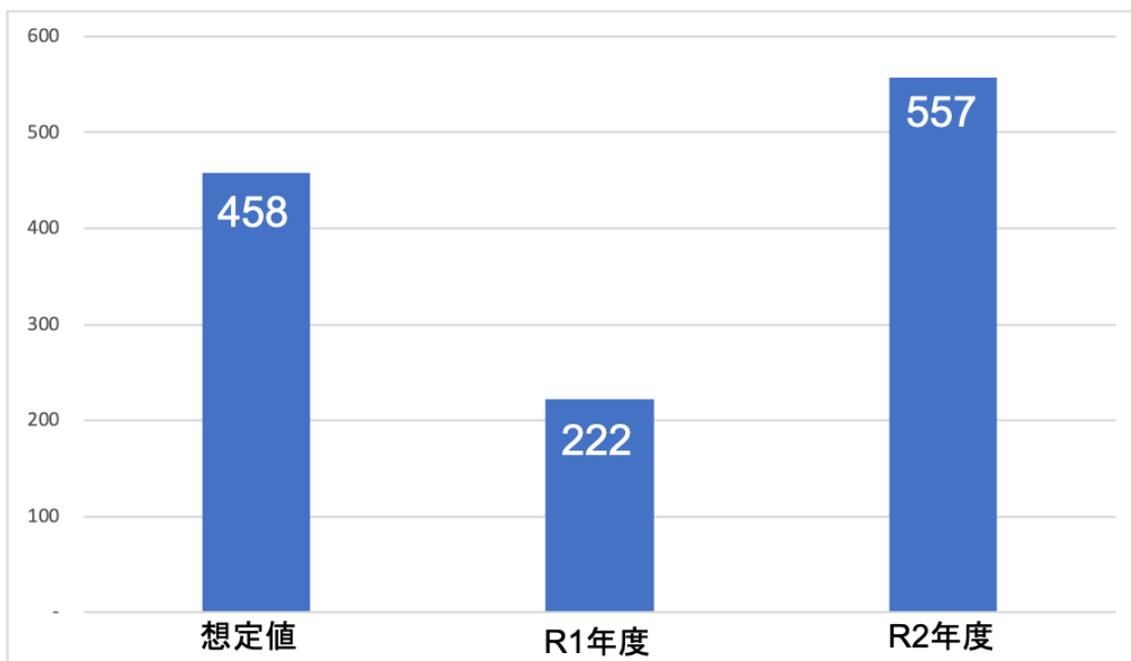
ニーズの低かった離島（想定値を下回った離島）

	島名	想定値（人）	結果値（人）
1	渡名喜島	1	0
2	座間味島	2	1
3	北大東島	2	1
4	宮古島	173	117
5	池間島	2	0
6	伊良部島	19	3

小規模離島においては、登録した理由が周囲の口コミによるものが多い傾向にある。令和2年度は新型コロナウイルス拡大防止のため自粛制限等により現地での説明会、または現地の役場への登録者募集の協力依頼等の活動が不十分であったことが、特に渡名喜島、座間味島、北大東島等の数値に現れていると考えられる。

1-3 テレワーカーの登録状況と告知活動

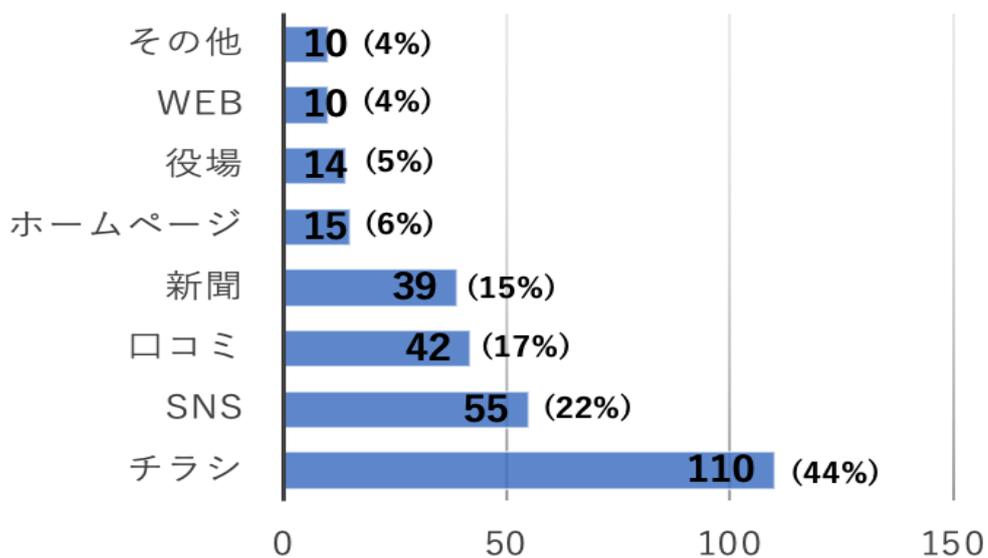
登録者の推移



2年間の事業においては想定値を超える登録者数となった。

令和2年度の事業終了後も1週間に1,2名のペースで参加申し込みは継続しており、微増の状況にある。

登録申込時アンケート “本事業をどこで知ったか”



SNS 利用者の増加に伴い、facebook 等での告知が有効であることがわかった。

宮古島、石垣島といった大規模離島では、新聞による告知が有効であったことに対し、その他の離島においては、役場からの広報誌、ホームページ、口コミが有効だった。

小規模離島については、地域の結びつきを重視する生活スタイルが一般的であり、新たな試みを始める場合は地域の顔役、リーダー的存在の島民の理解を得ることがまず重要となる。離島の課題解決や経済循環等、事業遂行の上で十分な説明を実施するために、今年度は伊江島・伊是名島・伊平屋島に在住するアンバサダーを設けたことが小規模離島でテレワーク登録者を増加できた要因となった。

アンバサダーは離島において事業への理解を求めることにとどまらず、チャットツールの使い方や業務に必要なスキルをテレワーカーへ指南するなど、高いリテラシーと地域課題解決への意識を持っており、事務局とテレワーカーとの関係性をより良く醸成する上で大変重要な役割を果たしたと評価できる。

それらを踏まえ、今後継続する事業において、アンバサダーの育成、関係性構築等に注力することが小規模離島の活性化につながると言える。

オンサイトでのテレワーカー募集説明会の実施



10月14日 伊是名島



10月16日 伊平屋島



9月25日 伊江島



9月17日 宮古島

沖縄県
令和2年度 離島テレワーク人材育成補助事業

**数回のセミナー受講で
パソコンを使って
副収入を得る
“テレワーク”をしませんか？**

【オシゴト例】 Webライティング・各種入力業務・Web関連・在宅コールセンター etc…
**離島テレワーク育成事業の補助により
セミナー受講料は無料です**

パソコンひとつで
できる仕事があります。

【参加の流れ】

- 1 下記の連絡先へメールまたは電話をします。
- 2 事務局から申込みフォームの案内が届きますので必要事項を記載し返送します。
- 3 登録完了です。
- 4 その後のやりとりは主にWeb会議システムとなります。

※応募は常時可能ですが、申込み時期によりスタート時期が変わります。年3期を予定しています。

— 申込み・ご質問はこちらまで —

連絡先 Island Connect Okinawa 通称元 (株)ブルーオーシャン沖縄 メール: info@icokinawa.com 電話 070-5271-9824
ホームページ: <http://icokinawa.com>

テレワーカー募集ポスター

island Connect Okinawaさんは宮古島ICT交流センター ...
にいます。
2020年9月24日・宮古島市・📍

去る9月17日(木)、アイランドコネクト沖縄のワークショップを宮古島ICT交流センターで実施しました。

午前中は、現在アイランドコネクト沖縄にアノテーション業務を発注いただいている東京の企業様に登壇いただき、今年からアノテーション業務を始めるワーカー向けのセミナーを実施。

また午後からは、アイランドコネクト沖縄が取り組んでいるBPO案件の概要や、より実践的なWebライティング研修を行いました。... **もっと見る**



BOO-OKI.COM
宮古島で在宅ワーカー向けワークショップを行いました
去る9月17日(木)、宮古島ICT交流センターでアイランドコネクト...

SNS での活動告知